

1. 事業内容

昭和58年9月の台風10号による災害を契機として昭和62年度から2次改修に着手し、低水路掘削を中心とする改修事業を実施している。

2. 改築の経緯

武庫川下流部の改修は、阪神間に占める地域の重要性より大正9年（1次改修）から始まり、潮止堰は、当初床止工として設置された。昭和30年頃からの高度成長期時代に地下水の過剰汲上げに起因する地盤沈下により潮止の機能を持つようになった。

3. 目 的

床止工としての機能（河床洗掘、低下の防止）の他に、地下水位の維持、塩害の拡大防止、そして水質及び生態系の保全、水辺空間利用（魚釣り、水遊び、散策、写生等）。

4. 潮止堰の諸元

堰 形 式：鋼製転倒堰（ステンレス製・トルク軸タイプ）
2.0m（H）× 30.4m（B）× 4門

堰平面形状：直線近似アーチ形状

堰頂・堰敷：OP + 2.35m ・ OP + 0.35m

倒 伏 水 深：H = 0.40m

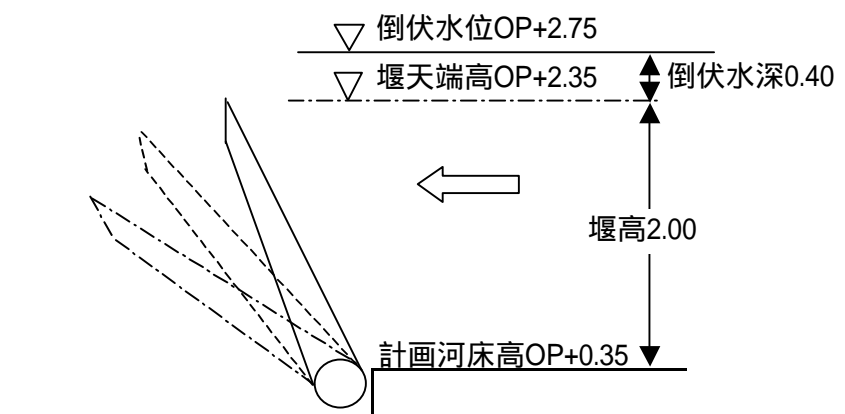
倒 伏 シ ス テ ム：上流水位一定維持方式多段倒伏制御

起 立 操 作：手動による（1門毎）

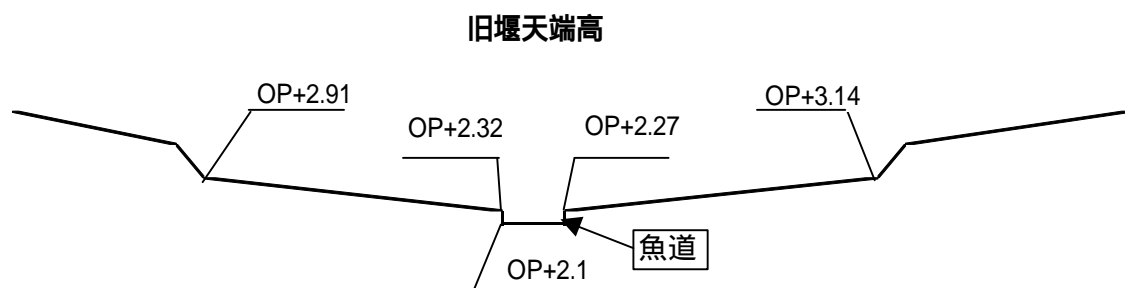
工 期：1990.10 ~ 1992.7

総 事 業 費：約 20 億円

倒伏システム



5 . その他



着 工 前



竣 工



一般平面図

